令和2年6月佐川町議会定例会会議録（第1号）

招集年月日 令和2年6月5日

招集の場所 佐川町議会議場

開 会 令和2年6月5日 午前9時宣告

開 議 令和2年6月5日 午前9時宣告（第1日）

応招議員	1番	橋元	陽一	2番	宮崎知恵子	3番	西森	勝仁
	4番	下川	芳樹	5番	坂本 玲子	6番	邑田	昌平
	7番	森	正彦	8番	片岡 勝一	9番	松浦	隆起
	10番	岡村	統正	11番	中村 卓司	12番	永田	耕朗
	13番	西村	清勇	14番	藤原 健祐			

不応招議員 な し

出席議員	1番	橋元	陽一	2番	宮崎知恵子	3番	西森	勝仁
	4番	下川	芳樹	5番	坂本 玲子	6番	邑田	昌平
	7番	森	正彦	8番	片岡 勝一	9番	松浦	隆起
	10番	岡村	統正	11番	中村 卓司	12番	永田	耕朗
	13番	西村	清勇	14番	藤原 健祐			

欠席議員 な し

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	堀見 和道	町 民 課 長	和田 強
副 町 長	中澤 一眞	病院事務局長	渡辺 公平
教 育 長	濱田 陽治	健康福祉課長	岡崎 省治
会 計 課 長	真辺 美紀	教 育 次 長	吉野 広昭
総 務 課 長	麻田 正志	産業振興課長	森田 修弘
チーム佐川推進課長	田村 正和	建 設 課 長	池内 伸雄
税 務 課 長	田村 秀明		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 片岡 雄司

町長提出議案の題目 別紙のとおり

議員提出議案の題目 な し

議 事 日 程 議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

会議録署名議員の指名 議長は、会議録署名議員に次の2人を指名した。
4番 下川 芳樹 5番 坂本 玲子

令和2年6月佐川町議会定例会議事日程〔第1号〕

令和2年 6月 5日 午前9時開議

日程第1		会議録署名議員の指名
日程第2		会期の決定
日程第3		諸般の報告
日程第4		行政報告
日程第5		陳情について
日程第6	報告第2号	令和元年度佐川町一般会計繰越明許費繰越計算書について
日程第7	同意案第1号	農業委員の認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の認定農業者等に準ずる者を任命することについて
日程第8	同意案第2号	佐川町農業委員の任命について
日程第9	同意案第3号	佐川町農業委員の任命について
日程第10	同意案第4号	佐川町農業委員の任命について
日程第11	同意案第5号	佐川町農業委員の任命について
日程第12	同意案第6号	佐川町農業委員の任命について
日程第13	同意案第7号	佐川町農業委員の任命について
日程第14	同意案第8号	佐川町農業委員の任命について

- 日程第 15 同意案第 9 号 佐川町農業委員の任命について
- 日程第 16 同意案第 10 号 佐川町農業委員の任命について
- 日程第 17 議案第 4 4 号 令和 2 年度佐川町一般会計補正予算（第 2 号）
- 日程第 18 議案第 4 5 号 令和 2 年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 19 議案第 4 6 号 令和 2 年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 20 議案第 4 7 号 令和 2 年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 21 議案第 4 8 号 令和 2 年度佐川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 22 議案第 4 9 号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 23 議案第 5 0 号 佐川町長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 24 議案第 5 1 号 佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 25 議案第 5 2 号 佐川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 26 議案第 5 3 号 佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 27 議案第 5 4 号 加茂辺地に係る総合整備計画の変更について
- 日程第 28 議案第 5 5 号 工事請負契約の締結について
- 日程第 29 議案第 5 6 号 工事請負契約の締結について
- 日程第 30 議案第 5 7 号 物品購入契約の締結について

議長（岡村統正君）

おはようございます。ただいまから令和2年6月佐川町議会定例会を開催します。

ただいまの出席議員数は14人です。

定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、4番、下川芳樹君、5番、坂本玲子君を指名します。

日程第2、会期の決定の件を議題にします。

本定例会の会期について、議会運営委員長から報告を願います。

議会運営委員長（永田耕朗君）

おはようございます。6月定例会の会期及び運営につきまして、6月2日に議会運営委員会を開催し審議した結果を報告します。

本日6月5日を開会日とし、議案の上程までとします。6日土曜日、7日日曜日は休会とします。8日月曜日、9日火曜日は一般質問を行い、終了後、常任委員会報告を行います。10日水曜日は議員全員協議会開催のため休会とします。11日木曜日は、議案質疑、討論、採決等を行い閉会とします。

本定例会の会期は、6月5日から11日までの7日間に決定しましたので報告します。

なお、運営については議長に一任いたしますので、よろしく願いいたします。

議長（岡村統正君）

お諮りします。

本定例会の会期を議会運営委員長の報告のとおり、本日から6月11日までの7日間にしたいと思います。

異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から11日までの7日間に決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

まず初めに、今や世界規模で感染拡大している新型コロナウイルス感染により亡くなられた方々に対しまして、この場をお借りしまして心から哀悼の意を表するしだいであります。

そして、今まさにウイルスと戦っておられる方々に対しましては、1日も早く回復され、社会生活に戻られることを強く望むと同時に、心からお祈りをいたします。

また、感染拡大防止に向け、医療関係者の医師、看護師、医療技師、福祉関係の業務に従事されている皆様におかれましては、昼夜を問わずその職務を全うしていただいておりますことに対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

現在、国全体では感染者は減少傾向でありますけれども、東京、北九州市などでは第2波の感染拡大といった予断を許さない状況が続いておりますけれども、高知県では5月31日で最後の感染者が退院され、感染者が0になっております。この緊急事態の収束には、薬の開発が欠かせないところでありますが、今、我々、お一人、お一人が自覚を持った行動をとっていくことが更に必要で、新たな生活様式の中で、この難局を乗り越えていかなければならないと考えております。皆様の行動によって、生活や地域経済の安定化がはかれるよう議会としても関わっていかなければならないと考えております。

こうした状況の中、当町議会においても3月定例会後の重立った会合は中止と判断し、当初予定をしていた地区懇談会に向けての全員協議会、並びに地区懇談会をやむを得ず中止と判断をさせていただきました。当町始め、他町村で開催のさまざまな会議は人と人との接触を極力避けるという形で書面の議決となりました。

今後は、国、県の動向を見据えながら徐々に本来の議会活動の幅を広げていかなければならないと考えております。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4、行政報告を行います。

町長（堀見和道君）

皆様、おはようございます。

本日は、議員の皆様方のご出席をいただき、令和2年6月佐川町議会定例会が開催できますことを厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関し、ご指導、ご協力をいただきまして改めて御礼を申し上げます。

それでは、開会にあたりまして行政報告をさせていただきます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する対応について報告をいたします。

本年1月16日に、新型コロナウイルスの感染者が日本国内で初めて確認され、2月28日には高知県内で初めての感染者が確認されました。その後、3月6日には中央西福祉保健所管内に帰省していた方の感染が確認され、翌日には濃厚接触者である親族の方の感染も確認されました。

これまでの間、町といたしましては町民の皆様に対し、手洗いやマスクの着用を含めた咳エチケットなど、お一人お一人での感染防止対策や、密閉、密集、密接の「3密」を避けていただくことなどを防災行政無線やホームページ、広報誌への折り込みチラシなどさまざまな方法で町民の皆様呼びかけてまいりました。

また、4月16日に全都道府県に緊急事態宣言が発令された以降は、国や高知県の対応に準じ、手洗いなどの予防の徹底や不要不急の外出自粛要請など、町民の皆様をお願いをしてまいりました。

現在までに、高知県内では74名の方の感染が確認され、うち3名の方が中央西福祉保健所管内での感染確認者となっております。

残念ながら高知県内では3名の方がお亡くなりになりましたが、71名の方につきましては全員が退院をされております。

現在、感染の確認者数は落ち着きを見せておりますが、第2波、第3波も来るであろうと言われております。今後の動向を注視していくとともに、国が示します「新しい生活様式」が町民の皆様に着するよう、これからも広報に努めてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施されております、特別定額給付金事業について報告いたします。

この事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ、的確に家計への支援を行うことを目的に実施されるもので、給付の基準日である本年4月27日時点で住民基本台帳に記録されている住民に、1人あたり10万円を給付することになっており、世帯主の方に町が一括して給付する仕組みとなっております。申請は感染拡大、感染防止の観点から、原則、郵送もしくはオンラインでの申請をお願いしております。

佐川町では5月12日に町内6,107世帯、1万2,665人を対象に申請書類を送付させていただきました。役場には給付金相談窓口を設け、住民の方からの電話相談や来庁による相談もお受けしながら、住民の方がスムーズに申請を行えるようサポートをしております。

13日からオンライン申請の受付を開始し、翌14日より郵送申請

の受付を始めておりますが、5月末までに全体の87.0パーセントにあたる5,318世帯から申請をいただきました。申請をしていただきました世帯への給付金の振り込みにつきましては、5月28日を初日とし、以後、平日の金融機関の営業日には順次、振り込みを行っております。

初日となりました28日は1,200世帯に対しまして、2,643人分の給付金2億6,430万円を支給させていただきました。その後、昨日までに、対象者全体の73.7パーセントにあたる4,503世帯、9,663人分の給付金9億6,630万円を給付させていただいたところであります。

今後も引き続き給付を行ってまいります。住民の方からの申請は8月13日が最終日となっておりますので、必要な方に対して給付が抜かることがないように、広報などで周知してまいります。

次に、5月14日の臨時議会でご承認をいただきました、佐川町社会福祉協議会への補助金で実施される事業についてご報告いたします。

佐川町からの拠出金や町民の皆様からの寄附金などを原資として、個人や事業者に対して給付を行うことを目的に、佐川町社会福祉協議会が創設した「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金」の運営につきましては、佐川町社会福祉協議会、佐川町、佐川町商工会が協力して行うこととしており、それぞれの組織から選出された者で構成する運営委員会が、給付対象者、給付額、給付手続き等を決定することとなっております。

この「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金」で、現在実施している支援策について御説明いたします。

まず、事業者向けの支援といたしまして、「チーム佐川支えあい事業者給付金」と「チーム佐川飲食店等感染症防止対策給付金」の2つの支援策が実施されております。

「チーム佐川支えあい事業者給付金」につきましては、国の「持続化給付金」の対象とならない、月の売上減少が前年比30%を超え50%未満の事業者に対し、事業の継続を支援するため、一律10万円の給付金を支給することとしております。また、国の「持続化給付金」の対象となっているものの、その売上減少が甚大な事業者に対し、50万円を上限に「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金運営委員会」で決定する額を給付することとしております。

「チーム佐川飲食店等感染症防止対策給付金」につきましては、飲食店や理美容業などの、事業の継続にあたり「密閉・密集・密接」の3密を避けることが困難である事業者に対し、営業時間の短縮や店舗内の消毒など、感染症防止対策を行うことを前提に一律10万円の給付金を支給することとしております。

この2つの支援策につきましては、要件に当てはまれば、それぞれに申請をすることができ、5月21日より6月30日まで、役場産業振興課を窓口として申請を受け付けております。なお、この窓口におきましては、町単独の給付金の受け付けに加え、国の持続化給付金の申請のお手伝いもしており、事業者の皆様にお使いいただけるパソコンも用意して、その場で申請できる体制をとっております。

また、こうしたサポートを通じ、事業者の皆様にも、さまざまな声をお聞かせいただいておりますので、これらを今後の支援策に生かしていきたいと考えております。

次に、個人向け支援といたしましては、国による一人あたり一律10万円の特別定額給付金や、国及び町独自の子育て世帯への臨時特別給付金が支給されることとなっておりますが、基金としましては、これらの給付金によっても、なお生活に困窮している人に対して支援を行うこととしております。

具体的には、休業や失業等によって、一時的に生活資金が必要な人向けに社会福祉協議会が窓口となって貸付している「緊急小口資金」又は「総合支援資金」を借りる人であって、事業者向けの「チーム佐川支えあい事業者給付金」、「チーム佐川飲食店等感染症防止対策給付金」を受給しない人に対しまして、3万円の給付金を支給することとしております。

基金の運用につきましては、今後の状況に応じ、随時、運営委員会を開催し、支援の内容についても柔軟に検討し、迅速に実施してまいります。

続きまして、各課の所管事項について、これまでの行政報告と重複する内容もございますが、報告をさせていただきます。

はじめに、チーム佐川推進課の所管事項でございます。

まず、道の駅整備事業について報告いたします。

昨年度策定いたしました基本構想から、次のステップであります基本計画の策定に向け、3月30日に第1回検討委員会を開催し、基本計画に盛り込む内容等を協議していただきました。その後、委員

会の意見を踏まえ、計画案を作成のうえ4月27日に第2回検討委員会を開催する予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、第2回検討委員会につきましては、延期をさせていただきました。なお、6月1日に、改めて第2回検討委員会を開催し、事前に委員の方から書面でいただいた意見について町の考え方を説明したうえで、協議をしていただきました。

今後のスケジュールにつきましては、いただきました意見を整理し、最終の委員会を開催したのちに、基本計画のとりまとめをしたいと考えております。今後につきましても、令和4年11月の開業に向け、着実に事業を進めていきたいと考えております。

次に、総務課の所管事項でございます。

まず、佐川町地域防災計画の改定について報告いたします。

災害対策基本法に基づき作成をしております地域防災計画は、町や地域に立地する防災関係機関の業務を定めるもののほか、防災教育、訓練、災害予防や災害に関する予報・警報の発令及び伝達、また、避難、消火、水防、救助などの災害応急対策、並びに災害復旧に関する事項別の計画と、その措置に要する計画など、防災に関する総合的な事項を定めるものであります。

今回の佐川町地域防災計画の改定につきましては、平成29年11月から、南海トラフ沿いにおいて異常な現象が観測された場合、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」として発表することとなりましたので、その事態に対する対応を定めるものであります。

この「南海トラフ地震臨時情報」とは、過去の事例から南海トラフ沿いでの東側、又は西側で巨大地震が発生した場合には、反対側での地震発生リスクが高まる状態が考えられることから、いわゆる「半割れ」、「一部割れ」、「ゆっくりすべり」の発生した地震のケースに分けて情報を発表するものであり、町はその発表後、1週間から2週間程度の配備体制や活動計画などを定めておくこととなります。

この「南海トラフ地震臨時情報」は、特に沿岸地域の津波による人的被害を最小限に抑えることが注目視されておりますが、佐川町内には土砂災害警戒区域や高齢者世帯なども多いことから、万が一の事態に備えて、自主防災組織などとも連携を図りながら、今回の改訂内容を周知してまいりたいと考えております。

次に、南海トラフ地震対策の取り組みについて報告いたします。

地震発生時、地域の皆様に避難所の開設や運営を行っていただくための事前対策として、拠点避難所ごとに作成しております「避難所運営マニュアル」を、昨年度は、文化センターと佐川中学校、斗賀野小学校の3カ所で作成いたしました。文化センターと佐川中学校につきましては、施設の距離が近いこともあり、1つの避難所運営マニュアルとして作成いたしました。

作成にあたっては、それぞれ拠点避難所の対象地区ごとに自主防災組織の代表者や民生委員、PTA役員などから構成される避難所準備委員会を立ち上げ、皆様から、開設の仕方や避難者の受け入れ手順、運営方法などについて、貴重なご意見や学校の実情に応じた多くのご提案をいただきました。皆様のご協力のおかげで実効性のあるマニュアルを作成することができたと考えております。

本年度は、遊学館でのマニュアル作成を進めることとしており、これで町内全ての拠点避難所の避難所運営マニュアルが完成することとなります。

次年度以降におきましては、自主防災組織や住民の方々を含め、地域の自助、共助の取り組みが進むよう、避難所運営マニュアルを活用した訓練に取り組んでいただくように努め、マニュアルが一層活用しやすくなるよう、見直しやブラッシュアップにも努めてまいります。

次に、防災行政無線の更新について報告いたします。

防災行政無線の更新に係る基本設計策定委託業務及び、実施設計策定委託業務につきましては、昨年度末をもって業務が完了いたしました。

今回の防災行政無線の更新につきましては、各地区に設置している同報系防災行政無線や高知県防災行政無線システムと連携することができる移動系防災行政無線の更新に加え、佐川町の防災情報の閲覧や緊急時などにプッシュ型で情報を提供することができる防災アプリを併せて整備することとしております。佐川町にとって、より良いシステムが構築できるよう、本年度と来年度の2カ年で事業を進めてまいります。

次に会計年度任用職員の任用について報告いたします。

令和2年4月より地方公務員法の改正に伴い、一般職の非常勤職員の任用等に関する制度が明確化され、会計年度任用職員制度が新たに設けられました。会計年度任用職員の職の設定に当たっては、

昨年7月に各課局のヒアリングを行い、現に存在する職を漫然と存続するのではなく、それぞれの職の必要性を十分吟味したうえで、適正な人員配置、また、必要と判断された職に対して適正な任用条件を設定しております。

制度開始後、4月末時点での任用された職員数は、教育委員会で70名、教育委員会以外で89名、合計159名となっており、この中には地域おこし協力隊24名も含まれております。

次に、税務課の所管事項でございます。

まず、令和2年度の固定資産税、軽自動車税、個人住民税の「納税通知書」の発送について報告いたします。

固定資産税につきましては、4月1日に発送いたしまして、前年度と比較し、件数で5件増加の7,304件、課税額は、519万2,600円増加の5億2,503万5,300円となっております。

軽自動車税につきましては、5月11日に発送いたしまして、前年度と比較し、件数で110件増加の8,835件、課税額は、122万1,100円増加の5,855万2,400円となっております。

また、個人住民税につきましては、給与特別徴収に係る分を5月15日に、普通徴収および年金特別徴収に係る分を6月1日にそれぞれ発送いたしまして、前年度と比較し、件数で22件減少の5,809件、課税額は、31万7,500円増加の4億4,097万4,700円となっております。なお、収納につきましては、年2回発送しております、滞納者に対する催告書を4月6日に125件発送し、滞納整理に取り組んでおります。

今後も、適正な課税と公平な徴収に努めてまいります。

次に、町民課の所管事項でございます。

まず、新たな管理型産業廃棄物最終処分場について報告いたします。

3月に開催を予定しておりました、町主催の第3回地元説明会につきましては、現地のボーリング調査が遅れたことなどから、県による第3回地元説明会の予定も延期となったことに伴い、開催を延期することと致しました。

また、4月から5月頃に予定しておりました、県主催の第3回地元説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言を踏まえ、日程の確保ができないとの理由により、町広報5月号の配布に併せ、加茂地区の住民の皆様へ延期のお知らせを行

うなど、これまで、住民の皆様への説明の機会が確保できていない状況が続いております。

一方で、町におきましては、地域振興策としてご要望いただいている個々の事業について、現地での詳細な調査を進め、地権者を訪問し、事業対象用地の提供についてのご意向を確認させていただくなど、とりまとめ作業を進めております。なお、開催を延期しておりました加茂地区の今年度の新自治会長の皆様への説明会を、5月21日に開催することができ、これまでの経過説明の後、県による3回目の地元説明会の実施方法などについてご意見をいただきました。

加茂地区自治会長会からは、地域には高齢者も多いことから、説明会の実施方法につきましては、新型コロナウイルスへの感染防止に万全の配慮をする観点から、文書による説明資料の配付と、これに対する意見照会にしてはどうか、とのご提案がありました。県とも協議した結果、6月下旬に資料配付による説明と併せて希望者に限った説明の場を設けてもらうことを考えております。なお、町が取りまとめを行っております地域振興策に関する説明会につきましては、加茂地区の自治会長に相談のうえ、開催時期や開催方法を決定し、実施することとしております。

次に特定健康診査について報告いたします。

国民健康保険事業における令和元年度の特定健診の受診率につきましては、国保連合会からの令和2年5月月例報告では41.06%となっており、平成30年度の同時期の受診率38.22%と比較しまして、2.84ポイント上回っており、受診する被保険者の割合は徐々に増加してきていることが推測されます。

しかし、本年2月に県内で最初の新型コロナウイルス感染者が確認され、その後の感染防止対策として、3月8日、日曜日に予定しておりました高北病院での特定健診を中止したことにより、令和元年度の受診率は平成30年度と同程度の受診率にとどまると考えております。また、本年度におきましても、感染予防のため、6月11日から健康福祉センターかわせみで開催予定のセット健診を中止せざるを得ない状況となり、町民の皆様が特定健診を受診する機会が減少しております。

このような状況の中、積極的な受診勧奨が出来ない状態ではありますが、新型コロナウイルスへの感染状況等を踏まえ、折を見て受診機会の確保等に努めていきたいと考えております。町民の皆様

おかれましては、感染予防対策を図りながら、日常生活の中で疾病予防や健康づくりに努めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

次に、健康福祉課の所管事項でございます。

まず、新型コロナウイルス感染症予防における各施設の対応について報告いたします。

保育所につきましては、国の緊急事態宣言を受け、町内全7園において、4月17日から5月15日まで、保護者が対応可能な範囲での登園自粛要請を実施いたしました。自粛要請期間中に1日でも登園を自粛した園児は370名にのぼり、期間中の自粛については、保育料及び副食費を免除する措置を講じております。緊急事態宣言が解除された現在は、全7園ともに通常保育に戻っております。保護者の皆様のご協力に改めて感謝を申し上げます。

あったかふれあいセンターにつきましては、緊急事態宣言を受けて休止しておりました「集い」を全5カ所において、5月18日から再開しております。開所に際しましては、スタッフだけでなく、利用者にもマスクを着用していただくとともに、部屋の換気を行い、会話による飛沫を防止するシールドをテーブルに設置するなど、それぞれの施設に応じた感染防止対策を徹底しております。引き続き、感染防止を図りながら、新しい「集い」の形を作り上げていきたいと考えております。

次に、「佐川町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、佐川町社会福祉協議会が建設しております、地域密着型施設の進捗状況について報告いたします。

施設本体の工事におきましては、基礎工事、鉄骨本体工事、屋根工事を終え、現在は外壁、内装工事を施工中であり、5月末時点での工事進捗率は、全体の7割程度となっております。

心配しておりました新型コロナウイルス感染症の影響による工事の遅れはなく、当初の予定どおり、竣工は本年7月末、施設開所は9月の見込みとなっております。6月8日より入所者の申し込み受付を予定しております。また、施設職員の採用予定者に対しましては、5月中に就業規則や雇用契約書、条件の提示を行うなど、円滑な職員採用に努めていただいております。佐川町社会福祉協議会の事務局とは、進捗状況を確認するため、定期的に連絡会議を行っており、今後におきましても、円滑な施設開所に向けて一層連携を密にして

まいります。

次に、「第8期佐川町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定状況について報告いたします。

本年度策定いたします第8期計画の基礎資料とするため、本年2月から3月にかけて要介護認定を受けていない65歳以上の4,128人を対象に「介護予防・生活圏域ニーズ調査」を実施し、65.2%に当たる2,690人から回答をいただきました。また、要介護認定を受けている在宅の高齢者とその介護者552人を対象に実施いたしました「在宅介護実態調査」には283人から回答をいただいております。

調査結果の分析とともに、介護保険事業計画策定委員会の委員や関係者の皆さんの生の声などから、佐川町の実態を詳細に把握し、本町の実情に即した計画づくりを進めてまいります。

次に、「佐川町障害者計画・第6期佐川町障害福祉計画・第2期佐川町障害児福祉計画」の策定について報告いたします。

この計画は、佐川町における新たな障害者施策の基本方針、実施事業及び障害福祉サービスの目標値を定めるためのもので、佐川町障害者計画は6年ごと、佐川町障害福祉計画・佐川町障害児福祉計画は3年ごとに見直しを行っております。

5月12日にテレビ会議方式によるプロポーザルを実施し、委託業者を高知市のジェイエムシー株式会社決定いたしました。現行計画における成果目標や障害福祉サービス見込量の確保状況等の検証を行うとともに、アンケート調査や関係団体へのヒアリングを実施し、地域自立支援協議会での協議を経て、本年度内に策定いたします。地域共生社会の実現を目指して、障害のあるなしに関わらず、チームさかわでお互いが支え合う、佐川町らしい計画を策定してまいります。

次に、産業振興課の所管事項でございます。

まず、チャレンジショップ事業について報告いたします。

本事業は、町内で新たな商業者を育成し、空き店舗等への出店を促すことで、商店街のにぎわいの創出、活性化を目指すことを目的としたものであり、佐川町商工会が実施主体となり、平成29年8月よりチャレンジショップさかわを開設しております。

本年3月までに6店舗のお試し出店があり、3月まで出店しておりました英会話教室が、4月より上郷地区の空き店舗において開業されております。同じく、3月まで出店されておりました整体施術

店につきましても、空き店舗での開業ではありませんが、地域の公民館を拠点として週1回の営業を行うことになっております。今後も、新たなチャレンジャーを募集し、町内で店舗開業するための支援に取り組んでまいります。また、昨年度には商店街活性化につながる取り組みとして、佐川町商工会が中心となり、「佐川町商店街等活性化計画」を作成しており、町といたしましても、商工会や関係機関と連携し、商店街の活性化をはじめ商工業の振興に引き続き取り組んでまいります。

次に、自伐型林業推進事業について報告いたします。

平成29年度採用の地域おこし協力隊で、3年間の任期が満了した3名の隊員は、佐川地区に2名、斗賀野地区に1名と全員が引き続き町内に定住しております。3名の内2名は、斗賀野地区と尾川地区でそれぞれ他の地域おこし協力隊OBと一緒に林業に従事しており、1名は林業を副業として今後関わる予定となっております。

今後も、持続可能な森林整備を志す林業の担い手が佐川町に定住し、町内の森林管理が適切に進められるよう、森林集約化等の取り組みを着実に実施してまいります。

次に、農業委員会の委員改選について報告いたします。

本年7月20日から始まる任期における農業委員会の委員につきましては、本年3月2日から3月31日にかけて、農業委員9名、農地利用最適化推進委員13名の募集を行い、それぞれ9名、12名の応募がありました。定員に満たなかった農地利用最適化推進委員につきましては、5月1日から5月29日にかけて、追加募集を行いましたところ、1名の応募があり、両委員とも定員数を満たすこととなりました。

このうち農業委員につきましては、副町長を委員長として、3名の課長で構成する佐川町農業委員会委員候補者評価委員会においての評価結果を受け、農業委員会委員の候補者に決定した9名につきましては、議会の同意を得て町長が任命することとなっておりますので、農業委員の選任につきましては、本定例会に同意案として提出させていただきます。

次に、建設課の所管事項でございます。

まず、災害復旧事業について報告いたします。

4月1日の豪雨により、町道下山4号線において、公共土木施設災害が発生いたしました。

山留擁壁及び背面土砂が延長 17.0m にわたり崩壊しており、現在、二次被害を防止するため、仮設防護柵を設置したうえ、関係者の皆様には、ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、安全面を考慮し、全面通行止めとさせていただき、迂回路として町道下山 5 号線を利用していただいております。

復旧に向けての事業スケジュールとしましては、6 月中旬に災害査定が予定されており、査定後の 7 月末には復旧工事を発注できるよう、準備を進めているところであります。

今回の災害につきましては、被災規模が大きく、工期が 12 月末となる見通しではありますが、一日も早い復旧を目指して迅速に対応してまいります。

次に、水道事業について報告いたします。

5 カ年計画に基づき、実施しております基幹管路の耐震化工事につきましては、昨年度に引き続き、松崎から中本町にかけて、約 400 メートル区間を 12 月末の竣工を目指し、進めております。交通量が多い箇所での工事となり、住民の皆様にはご不便、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。また、上郷地区におきましては、国道を横断している石綿セメント管及びはんじょう橋に取り付けてある配水管の更新工事を実施することとしております。

平成 28 年度に策定した水道事業経営計画の財政予測では、令和 17 年度までの耐震化等に係る整備事業費用を約 26 億円と見込んでおり、その財源を賄うためには令和 2 年度、12 年度にそれぞれ 20 パーセントの料金改定が必要であるとの試算をしております。近年、安定的に経営することができておりますが、耐震化事業の国庫補助金の採択要件である給水原価に対する供給単価の割合を示す料金回収率 100 パーセントを超えなければならず、この要件を満たすためにも経営計画から 1 年遅れとはなりますが、令和 3 年度には料金改定が必要となっております。

今後も計画的に水道施設の耐震化を実施することにより、地震による断水などのリスクを軽減し、安全で強靱な水道事業経営の持続を目指すとともに、適正な資金確保を行うため、料金改定に向けて検討を進めてまいります。

次に、飲料水供給施設整備事業について報告いたします。

良好な生活用水を安定的に確保するため、高知県の補助金を活用

し、大奈路集落に小規模水道施設を整備することとしており、高齢化の進む集落におきましても、安心して暮らし続けることができるように生活環境の整備を進めてまいります。

次に、教育委員会の所管事項でございます。

まず、町立小中学校と社会教育施設における、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて報告いたします。

本年2月に内閣総理大臣より出されました、小中学校等の臨時休業要請を受け、町立小中学校では、県や周辺市町村の状況も参考に、3月4日から3月24日までと4月14日から5月10日までの2回、全校臨時休校といたしました。4月につきましては、国の緊急事態宣言を受け、休校期間を当初は4月14日から27日までとしておりましたが、緊急事態宣言の措置延長に伴い5月1日まで、さらに5月8日までと、2回にわたり休校を延長いたしました。

この間、小学校の放課後児童クラブと放課後子ども教室につきましては、子供たちの休校中の居場所づくりのため、保護者に協力をお願いしながら、3密を避け、マスクの着用や消毒を励行しながら実施いたしました。また、各社会教育・社会体育施設につきましても、学校の休校に準じて臨時休業をいたしました。幸い、町立小中学校や社会教育施設において感染者は見られず、緊急事態宣言も解除されたことから、5月11日から、全校・全施設とも再開しております。

今後、小中学校や各社会教育・体育施設につきましては、感染拡大の防止に十分留意しながら、授業や開放をしていきたいと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、町立小中学校でも休校が長期化し、子供たちへのGIGAスクール構想の加速による学びの保障が急務となっていることに加え、さかわ未来学構想の取り組みを一層進めるため、教育用タブレットの導入を、すでに予算化しております小学校5、6年生と中学校1年生に加え、小学校1年生から4年生までと中学校2、3年生についても教育用タブレットの導入を加速させ、本年度中に児童・生徒にひとり1台のタブレットが行き渡るよう、取り組みを進めてまいります。

次に町立図書館などの新文化拠点について報告いたします。

昨年度、佐川町新文化拠点整備基本構想を策定いたしました。この基本構想では大きな整備方針といたしまして、「図書館、青山文庫、

発明ラボの一体的な整備」、「整備と運営の一貫性のある体制での進行」、「社会的包摂という価値の尊重」、「ふるさと教育『さかわ未来学』の中心施設としての位置づけと、まち全体とのつながり」、「現実的な各種見通しに立脚した適切な計画と協働・自治の推進」の5つを掲げており、新文化拠点が町民の皆様の学びの拠点となり、人との関わりによって育む学びあいの場となることを目指しております。

本年度におきましては、新図書館と青山文庫のそれぞれの基本構想をより具体的な内容で、一体的にお示しする基本計画を策定する予定としており、本定例会で補正予算を計上させていただいております。

なお、3月定例会におきまして、用地交渉の不成立をご報告させていただきました建設予定地につきましては、新文化拠点が、学びあいの場であると同時に、佐川町の観光の大きな柱となることから、上町地区の歴史的風致維持向上計画区域内の用地を新たに選定し、4月に土地、建物の売買につきまして、地権者との間で基本合意にいたっております。

今後につきましても、開館に向け、円滑に事業を進めてまいります。

最後に、高北病院の所管事項でございます。

まず、新型コロナウイルス感染症に対する高北病院の対応について報告いたします。

全国で拡大する新型コロナウイルス感染症の院内感染を防止するために、高北病院では4月15日から5月29日までの間、病院玄関横に「発熱外来診察」用のテントを設置し運用いたしました。ここでは、来院者全員の体温測定を行うとともに発熱者もしくは感冒症状のある患者の間診及び医師が必要と認める方の診察を実施いたしました。来院の皆様には大変ご不便をおかけいたしました。院内感染防止のために必要なことであり、今後も新型コロナウイルス感染症の状況によっては発熱外来診察の再開もあり得ますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、医師確保について報告をいたします。

3月末をもって常勤医師2名が退職いたしました。4月以降は、高知大学、高知医療センター及び仁淀川町の大崎診療所のご協力により、新たに複数の当直担当の非常勤医師を確保することができま

した。これにより、常勤医師の当直回数も3月までとほぼ変わらず、常勤医師の負担軽減につながっております。

今後も、地域の皆様の期待に応える病院づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、病院事業に一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本定例会に提出いたしました付議事件は、報告が1件、補正予算案を含む議案が14件、同意案が10件、となっております。

ご審議のうえ、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

議長（岡村統正君）

以上で行政報告を終わります。

日程第5、陳情についてを議題にします。

本日までに受理した陳情はお手元に配付しました陳情文書表のとおりです。

受理番号1は産業厚生常任委員会に付託します。

日程第6、報告第2号、令和元年度佐川町一般会計繰越明許費繰越計算書についてを議題とします。

提出者の報告を願います。

町長（堀見和道君）

それでは報告案件について御説明申し上げます。

報告第2号、令和元年度佐川町一般会計繰越明許費繰越計算書につきましては、一般会計の繰越明許費に係る経費として、総額4億8,211万9,540円を翌年度に繰り越したことを地方自治法施行令、第146条、第2項に基づき報告するものであります。

報告は以上でございます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで報告を終わります。

日程第7、同意案第1号、農業委員の認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の認定農業者等に準ずる者を任命することについてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

それでは同意案件について御説明申し上げます。

同意案第1号、農業委員の認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の認定農業者等に準ずる者を任命することにつきましては、農業委員会の委員は農業委員会等に関する法律、第8条、第5項の規定により原則として認定農業者等が農業委員の過半数を占めることとされておりますが、ただし書きで認定農業者が少ない場合はその限りではないとされております。

佐川町農業委員会の農業委員の定数は佐川町農業委員会の委員、及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例により9名となっていることから、過半数ですと5名以上の認定農業者を任命する必要がありますが、佐川町の認定農業者数は39名と少なく、今回の農業委員についての公募に対しても認定農業者からの応募または推薦は過半数の5名に届きませんでした。認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合として、農業委員会等に関する法律、施行規則第2条、第1項において認定農業者の数が委員の定数に8を乗じて得た数を下回る場合は、認定農業者等または認定農業者に準ずる者を委員の過半数とすることについて、当該市町村議会の同意を得たときとされており、本町はそれに該当することから、議会の同意を求めるものであります。

説明は以上でございます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

同意案第1号、農業委員の認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の認定農業者等に準ずる者を任命することにつ

いて同意することに賛成の方の挙手を求めます。

全員賛成。

したがって、同意案第1号は、同意することに決定をいたしました。

日程第8、同意案第2号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

地方自治法第117条の規定により、藤原健祐君の退場を求めます。

(藤原健祐君、退場)

提出者の説明を求めます。

町長(堀見和道君)

同意案件について御説明申し上げます。

佐川町農業委員の任命につきましては、現在の農業委員会委員の任期が本年7月19日をもって任期満了となることから、7月20日から始まる任期における農業委員会の委員のうち農業委員9名を任命することについて、議会の同意を求めるものであります。

同意案第2号、佐川町農業委員の任命につきましては、藤原健祐氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

藤原氏は現農業委員であるとともに、高知県農業共済組合理事を務めており、地域の農業に精通していることから農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長(岡村統正君)

質疑を行います。

11番(中村卓司君)

わかってませんので質問させてください。

御存じのとおり、議員さんも藤原健祐さんはやっていますけども、農業委員とダブルで支障ってというのは問題ないか聞かせていただきたいと思います。

産業振興課長(森田修弘君)

中村議員の質問にお答えさせていただきます。

兼職規定に特に抵触することはありませんので。

以上でございます。

議長(岡村統正君)

他に質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第2号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

全員起立。

したがって、同意案第2号は、同意することに決定いたしました。
藤原健祐君の入場を求めます。

(藤原健祐君、入場)

日程第9、同意案第3号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長(堀見和道君)

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第3号、佐川町農業委員の任命につきましては、田村和弘氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

田村氏は認定農業者であるとともに指導農業者でもあることから農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長(岡村統正君)

質疑を行います。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第3号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第3号は、同意することに決定をいたしました。

日程第10、同意案第4号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第4号、佐川町農業委員の任命につきましても、森田有紀氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

森田氏は現農業委員であるとともに、NPO法人とかの元気村の副代表であり、あったかふれいあいセンターではコーディネーターを務めるなど、地域の福祉事業に積極的に取り組む活動をされており、農業委員会等に関する法律、第8条、第6項において農業委員の任命にあたっては、農業委員会の所掌に属する事項に関し、利害関係を有しない者が含まれるようにしなければならないとされており、森田氏におかれましては、農業以外の立場にあり、利害関係を有しない委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第4号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第4号は、同意することに決定をいたしました。

日程第11、同意案第5号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第5号、佐川町農業委員の任命につきましては、氏原延氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

氏原氏は現農業委員であるとともに農村女性リーダーとして日頃から地域で活動されていることから、農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第5号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第5号は、同意することに決定しました。

日程第12、同意案第6号、佐川町農業委員の任命についてを議題

とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第6号、佐川町農業委員の任命につきましては、田村公史氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

田村氏は現農業委員であるとともに認定農業者であることから、農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第6号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第6号は、同意することに決定をいたしました。

日程第13、同意案第7号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第7号、佐川町農業委員の任命につきましては、佐藤良一氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

佐藤氏は現農業委員であり、以前にはコスモス農協理事を務めら

れた経験もあります。現在は西ハザコ集落協定組織の副代表を務めるなど、地域の農業振興に寄与されていることから、農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第7号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第7号は、同意することに決定をいたしました。

日程第14、同意案第8号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第8号、佐川町農業委員の任命につきましては、横畠悦子氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

横畠氏は現農業委員であり、認定農業者の親族であります。農村女性リーダーとして日頃から地域で活動されていることから、農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第8号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第8号は、同意することに決定いたしました。

日程第15、同意案第9号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第9号、佐川町農業委員の任命につきましては、横畠増吉氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

横畠氏は現農地利用最適化推進委員であり、認定農業者OBでもあります。また、制度改正前に農業委員を3期務められた経験もあることから、農業に対する識見があり、農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

議長（岡村統正君）

質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第9号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第9号は、同意することに決定しました。

日程第16、同意案第10号、佐川町農業委員の任命についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長(堀見和道君)

同意案件について御説明申し上げます。

同意案第10号、佐川町農業委員の任命につきましては、北添正男氏を任命したく、議会の同意を求めるものであります。

北添氏は現農業委員会の会長であるとともに、高知県農業会議常設審議委員を務めるなど、農業に対しての識見があり、農業委員として適任者であります。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

議長(岡村統正君)

質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第10号、佐川町農業委員の任命について同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第 10 号は、同意することに決定しました。
ここで、10 時 30 分まで休憩します。

休憩 午前 10 時 13 分

再開 午前 10 時 30 分

議長（岡村統正君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第 17、議案第 44 号、令和 2 年度佐川町一般会計補正予算（第 2 号）から日程第 30、議案第 57 号、物品購入契約の締結についてまで、以上 14 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

町長（堀見和道君）

それでは提出議案について御説明申し上げます。

議案第 44 号、令和 2 年度佐川町一般会計補正予算（第 2 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 2 億 3,636 万 3 千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 93 億 5,283 万 1 千円とするものであります。

議案第 45 号、令和 2 年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 709 万 6 千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 19 億 6,936 万 4 千円とするものであります。

議案第 46 号、令和 2 年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 38 万 5 千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 18 億 5,874 万円とするものであります。

議案第 47 号、令和 2 年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 141 万 8 千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 2 億 3,367 万 6 千円とするものであります。

議案第 48 号、令和 2 年度佐川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 59 万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 3,621 万 9 千円とするものであります。

議案第 49 号、教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する

条例の一部を改正する条例の制定につきましては、現在、教育長に支給している通勤手当について、県下市町村との均衡を鑑み、本条例から通勤手当の字句を削るため、条例の一部を改正するものであります。

議案第 50 号、佐川町長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、法律で条例に規定することにより認められている、病院事業の役務提供に関する複数年契約が現行条例に定められていないため、条例の一部を改正するものであります。

議案第 51 号、佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、令和 2 年 3 月 10 日、新型コロナウイルス感染症対策本部決定の、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策、第 2 弾において、国民健康保険及び後期高齢者医療において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に傷病手当を支給する市町村等に対し、支給額全額について国が特別な財政支援を行うとの記載が盛り込まれたことから、新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金を支給するため、条例の一部を改正するものであります。

議案第 52 号、佐川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給に関する高知県後期高齢者医療広域連合、後期高齢者医療に関する条例の一部改正に伴い、町において行う事務に傷病手当の支給に係る申請書の受け付けを加えるため、条例の一部を改正するものであります。

議案第 53 号、佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する省令が交付されたこと及び新型コロナウイルス感染症緊急経済対策が閣議決定されたことに伴い、必要な事項について条例の一部を改正するものであります。

議案第 54 号、加茂辺地に係る総合整備計画の変更につきましては、総合整備計画書の公共的施設の整備計画に産業振興施設を追加して整備するにあたり、辺地に係る公共的施設の総合整備のための、財政上の特別措置等に関する法律、第 3 条、第 1 項の規定により、総合整備計画の変更について、議会の議決を求めるものであります。

議案第 55 号、工事請負契約の締結につきましては、令和 2 年 5 月 27 日に入札を行いました、佐川町役場庁舎非構造部材等耐震改修工

事の請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。契約の方法は一般競争入札、契約金額は3億1,369万8千円、契約の相手方は高知県高知市桜馬場8番20号、株式会社晃立、代表取締役、嶋崎勝昭でございます。

議案第56号、工事請負契約の締結につきましては、令和2年5月27日に入札を行いました、令和2年度佐川町総合文化センター大規模改修工事の請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。契約の方法は一般競争入札、契約金額は3億3,897万6千円、契約の相手方は高知県高知市九反田5番8号、新進建設株式会社、代表取締役、小川裕司でございます。

議案第57号、物品購入契約の締結につきましては、令和2年5月28日に入札を行いました、令和2年度佐川町消防団ポンプ自動車調達業務の物品購入契約締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものであります。契約の方法は指名競争入札、契約金額は2,904万円、契約の相手方は高知県高知市南川添1番地28、株式会社藤島、代表取締役、藤島正守でございます。

説明は以上でございます。

なお、各議案の詳細につきましては、担当課長から説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

総務課長（麻田正志君）

それでは私からは、議案第44号、令和2年度佐川町一般会計補正予算（第2号）につきまして、主なものについて説明をさせていただきます。

補正予算書の5ページをお開きください。5ページをお願いいたします。

補正予算書の5ページは第2表、地方債の補正となっております。まず、上の表の1、追加の説明のほうをさせていただきます。この表の上の事業となります、道路改良事業（県工事負担金事業）につきましては、当初予算に計上しております。高知県が実施する県道の道路改良事業に係る町負担分につきまして、緊急自然災害防止事業債の対象となりますので追加し、限度額を130万円とするものとなっております。

その下の、高知県防災行政無線システム再整備工事負担金につきましては、こちらのほうも当初予算に計上しております、高知県防災行政無線システム再整備工事の町負担分につきましては、緊急防災減災事業債の対象となりますので追加し、限度額を420万とするものです。

その下のGIGAスクール構想校内通信ネットワーク整備事業につきましては、国の補正予算、GIGAスクール構想事業に係る経費の財源とするものです。限度額を1,940万円としております。

なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、令和2年度一般会計の当初予算の地方債と同じ内容となっております。

その下の表になります、2、変更の説明をさせていただきます。

表の上の事業となります、尾川消防屯所整備事業につきましては、尾川消防屯所整備事業の財源とするものとなっております。限度額を730万円補正し、4,790万円としております。

その下の急傾斜地崩壊対策事業（県工事負担金事業）につきましては、本年度実施分県工事の事業量、工事費が決定し負担金が増額となったことから、限度額を50万円補正し、1,980万円としております。

その下の公共土木施設災害復旧事業につきましては、4月1日の豪雨により町道下山4号線において、大規模な災害が発生したことなどにより、限度額を920万円補正し、2,490万円としております。

その下の、町民プール改修事業につきましては、本年度実施予定事業の変更により、減額するものとなっております。限度額を370万円減額し、930万円としております。

なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、変更はございません。

続きまして歳出から主なものについて説明をさせていただきます。

歳出の補正につきましては、給料や職員手当、共済費等に増減が発生しておりますが、これは主に4月の人事異動等によります人件費の補正でありまして、その分につきましては説明を省略させていただきます。

まず、事項別明細書の14ページ、15ページをお開きください。

14ページ、15ページです。15ページの中ほどより少し下のほうになります。2款、1項、1目、一般管理費、24節、積立金の説明欄、減債基金積立金の486万9千円は、平成30年度と令和元年度に

かけて実施いたしました、町立小中学校への空調設備整備事業に係ります、高知縣市町村立学校等空調設備整備促進事業費交付金につきまして、当交付金交付要綱に規定されております、交付金の使途に基づきまして、全額を減債基金に積み立てるものとなっております。

同じページの下から数えまして、3段目になります。11目、新型コロナウイルス対策費、10節、需用費の説明欄、消耗品188万4千円、こちらにつきましては拠点避難所での新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、マスク、アルコール消毒、使い捨て手袋、非接触型体温計を購入しようとするものとなっております。

その下の段になります、18節、負担金補助及び交付金の説明欄、特別定額給付金200万円、こちらのほうにつきましては、対象者が見込み人数より多かったため、その不足額を増額するものとなっております。

16ページ、17ページをお開きください。

17ページの下から数えまして、4段目になります。3項、1目、戸籍住民基本台帳費、12節、委託料の説明欄、住民基本台帳システム改修業務委託料の247万5千円とその下の戸籍附票システム改修委託料の492万8千円はデジタル手続き法に基づく住民基本台帳法の一部改正に基づく住民基本台帳システム、戸籍附票システムの改修の委託料となっております。

続きまして18ページ、19ページをお開きください。

19ページの中ほどより少し下のほうになります。3款、1項、7目、介護保険サービス費、18節、負担金補助および交付金の説明欄、地域・介護福祉空間施設整備等整備交付金、こちらの2,291万3千円は特別養護老人ホームわかきの桜ならびに認知症共同生活介護施設やっこそうにおける非常用自家発電装置の整備への交付金となります。同額が後ほど説明いたします歳入のほうにも計上させていただいております。

その下の8目、介護保険特別会計繰出金、27節、繰出金の2,963万7千円は主として消費税率が10%に引き上げられたことに伴いまして、消費税を財源として行う介護保険料に係る低所得者保険料軽減のための繰出金となっております。低所得者に係る介護保険料を減額し、減額となった保険料を補填するものとなっております。これも後ほど歳入で説明いたします、国、県からの負担金に町の負担

分を加えて繰り出すものということになっております。

続きまして 20 ページ、21 ページをお開きください。

21 ページの一番上になります。3 項、2 目、児童福祉費、18 節、負担金・補助及び交付金の説明欄、保育対策総合支援事業補助金（新型コロナウイルス対策費）の 250 万円、こちらのほうは令和 2 年度、保育対策総合支援事業費補助金交付要綱が、本年令和 2 年 4 月 1 日から適用され、保育施設において新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、保育施設が購入する感染防止用の備品等の経費を 1 施設当たり 50 万円、これは補助率、国の 10 分の 10 となっております、1 施設当たり 50 万円補助されることになったことに伴う、私立保育施設への補助金となっております。

続きまして、22 ページ、23 ページをお開きください。

23 ページの一番上になります。4 款、2 項、1 目、清掃施設費、12 節、委託料の説明欄、ごみ収集委託料 63 万円とその下の段にあります 18 節、負担金・補助及び交付金の説明欄、ごみ集積所整備補助金の 100 万円は新規事業といたしまして、ごみ出し支援の取り組みを行う自治会等に協力金を交付すること、そして、自治会等が行うごみ集積所の整備に対して補助金を交付するための費用となっております。

同じページが一番下の段になります、一番下の段の、6 款、1 項、1 目、商工振興費の説明欄、新型コロナウイルス対策新規事業支援補助金 200 万円は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けました町内の事業者が、新規事業、新商品の開発でありますとか、テイクアウト、ネット販売などでありますけれど、新規事業を開始した場合にその経費の一部を補助、上限 10 万円といたしまして 3 分の 2 以内。その経費の一部を補助するものということになっております。

続きまして 24 ページ、25 ページをお開きください。

25 ページの下から数えまして 2 段目の表、表の中ほどになります、8 款、1 項、3 目、消防施設費、14 節、工事請負費の説明欄、消防施設整備工事 733 万 6 千円は尾川消防屯所整備事業につきまして、当初予算編成後に当初予定しておりました用地より、屯所用地としてより適地での用地に予定地を変更したことに伴う造成費等の増額となっております。

続きまして 26 ページ、27 ページをお開きください。

27 ページの一番上になります。9 款、1 項、4 目、学校組合費、

18 節、負担金・補助及び交付金の説明欄、日高村佐川町学校組合加茂小中学校組合負担金、879 万 4 千円は国の補正予算によります G I G A スクール構想事業として日高村佐川町学校組合が、加茂小学校及び中学校へ L A N 整備工事及び端末を整備するための費用にかかる町の負担分となっております。

その下の表の一番上になります。2 項、2 目、教育振興費、12 節、委託料の説明欄、情報通信環境整備設計委託 616 万円、その下の情報通信端末ソフト及び初期設定委託費 1,614 万 6 千円、その下の 14 節、工事請負費の説明欄、情報通信環境整備工事 3,088 万 5 千円、その下の備品購入費の 1,973 万円は国の補正予算による G I G A スクール構想事業として小学校の L A N 整備工事及び端末整備を実施するものとなっております。

その下の表の一番上になります。3 項、2 目、教育振興費、12 節、委託料の説明欄、情報通信環境整備設計委託料 264 万円、その下の情報通信端末ソフト及び初期設定委託費 793 万 8 千円、その下の 14 節、工事請負費の説明欄、情報通信環境整備工事 1,269 万 1 千円、その下の 17 節、備品購入費の 970 万円、こちらのほうは先ほどの小学校と同じく、国の補正予算による G I G A スクール構想事業として中学校の L A N 整備工事及び端末整備を実施するものということになっております。

同じページの下から 2 段目になります。下から 2 段目、4 項、1 目、社会教育総務費、12 節、委託料の説明欄、新図書館整備方針策定業務委託料 1,276 万 3 千円は不動産鑑定評価業務及び用地測量委託業務等基本計画策定委託業務となっております。

続きまして 28 ページ、29 ページをお開きください。

29 ページの下から数えまして 5 段目になります。5 項、1 目、保健体育総務費、12 節、委託料の説明欄、プール室環境改善調査及び改修工事設計委託業務、△400 万 9 千円は当初予算に計上しておりました町民プール室環境改善調査及び改修工事設計委託業務について、今年度はプール室内の環境改善調査に係る設計業務のみ実施することとなったため、不用となった経費について減額するものとなっております。

その 2 つ下の段になります。21 節、補償、補填及び賠償金の 387 万円は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、佐川町民プール及びテニスコートの指定管理者へ休業要請をして 4 月と 5 月に臨

時休館とした期間の営業補償金となります。

続きまして 30 ページ、31 ページをお開きください。

31 ページの下から数えまして 4 段目になります。10 款、2 項、1 目、土木施設災害復旧費、14 節、工事請負費の 2,327 万 1 千円は 4 月 1 日の豪雨により、町道下山 4 号線において発生した大規模災害に係る費用となっております。歳出の説明は以上です。

続きまして歳入の説明をさせていただきます。

10 ページ、11 ページをお開きください。

11 ページの上から数えまして 2 段目になります。14 款、1 項、1 目、民生費国庫負担金、2 節、社会福祉費負担金の説明欄、低所得者保険料軽減費負担金の 1,475 万 8 千円は先ほど歳出のほうでも説明いたしましたけれど、消費税増税に伴う介護保険料に係る低所得者保険料軽減費の国の負担金となっております。負担割合は 2 分の 1 となっております。

その下の表の一番上の段になります。2 項、1 目、民生費国庫補助金、1 節、社会福祉費補助金の説明欄、認知症グループホーム等防災改修等支援事業の 2,291 万 3 千円は先ほど歳出で説明をいたしました、地域介護福祉空間施設整備等整備交付金に対する国からの補助金となっております。

1 つ下の段の 2 節、児童福祉費補助金の説明欄、保育対策総合支援事業補助金（新型コロナウイルス対策費）の 350 万円、これも先ほど歳出で説明いたしました保育対策総合支援事業補助金（新型コロナウイルス対策費）などに対する国の補助金となっております。

その下の段の 5 目、教育費国庫補助金、4 節、教育費補助金の 3,782 万 5 千円は歳出で説明しました、小学校及び中学校の G I G A スクール構想事業に対する国の補助金となっております。

その下の段の 6 目、災害復旧費国庫補助金、1 節、公共土木施設災害復旧費補助金の 1,552 万 1 千円は歳出で説明しました、町道下山 4 号線において発生した大規模災害への国の補助金となっております。

その下の段の 8 目、総務費国庫補助金、1 節、総務費補助金の説明欄、社会保障・税番号制度システム整備補助金（国外転出者関係）740 万 3 千円は歳出で説明しましたデジタル手続き法に基づく住民基本台帳法の一部改正に基づく住民基本台帳システム、戸籍附票システムの改修に係る国の補助金となっております。

その下の特別定額給付金給付事業補助金は歳出で説明しました、特別定額給付金の給付に係る国の補助金、200万円となっております。

その下の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、6,944万5千円は5月補正におきまして、歳出予算に計上しました、高知県休業等要請協力金事業負担金、そしてチーム佐川支え合い補助金、そして子育て世帯への臨時特別給付金。こちらのほうは町の単独分です。また今回の6月補正におきまして、歳出予算に計上しております、先ほど歳出で説明しました新型コロナウイルス対策費の消耗品、マスク等でありますけれど、それと新型コロナウイルス対策新規事業支援補助金、佐川町及び日高村佐川町学校組合が実施するG I G Aスクール構想事業に係る端末の町負担分に係る国の補助金ということになっております。

その下の段の表の15款、1項、1目、民生費県負担金、2節、社会福祉費負担金説明欄の、低所得者保険料軽減費負担金737万9千円は先ほどの国庫負担金でも説明いたしました、消費税増税に伴う介護保険料に係る低所得者保険料軽減費の、こちらのほうは県の負担金となっております。負担割合は4分の1となっております。

一番下の段の表の下から3段目、下から3段目になりますけれど、2項、6目、教育費県補助金、2節、小学校費補助金、360万4千円とその下の3節、中学校費補助金126万5千円は先ほど歳出で説明をいたしました、平成30年度、令和元年度にかけて実施しました町立小中学校への空調設備事業に係る県の補助金となっております。歳出で説明しましたとおり、減債基金へ積み立てを行います。

続きまして12ページ、13ページをお開きください。

13ページの一番上になります。18款、1項、1目、財政調整基金繰入金、△3,579万5千円は今回の補正予算の歳入の増額に伴い、繰入金を減額するものとなっております。

その下の段の1節、その他基金繰入金の説明欄、ふるさとづくり基金繰入金、1,303万2千円は新図書館及び新青山文庫の整備方針策定にかかる経費である報酬、旅費及び委託料の財源とする繰入金としております。

その下のふるさと納税寄附金基金繰入金3,525万7千円はG I G Aスクール構想に係る地方創生臨時交付金を含めました、国からの補助金及び町債を除く町負担分の財源とする繰入金としております。

その下の段の表の上から数えまして2段目になります、21款、1項、2目、教育債、1節、学校施設整備債の1,940万円は国の補正予算によるGIGAスクール構想事業として実施する、小中学校のLAN整備工事及び端末整備の財源とするものとなっております。

その2つ下の3目、災害復旧債、2節、公共土木施設災害復旧債の説明欄、現年災害、920万円は歳出でも説明いたしました4月1日の豪雨による、町道下山4号線の災害復旧費などの財源とするものとなっております。

その下の段の7目、消防債、1節、消防施設整備事業債の1,150万円は当初予算に計上しております、高知県防災行政無線システム施設整備工事の負担分と今回の補正であります尾川消防屯所整備事業の財源とするものとなっております。以上でございます。よろしくお願いいたします。

町民課長（和田強君）

それでは、私のほうから議案第45号、令和2年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の説明をさせていただきます。

補正予算書の事項別明細書の10ページ、11ページをお開きください。

歳出のほうから説明させていただきます。上から2つ目の表になります。1款、2項、1目、賦課徴収費につきましては、4月の人事異動に伴い、給与、職員手当等の合計で100万円の増額補正を行うものです。

一番下の表2款、6項、1目、傷病手当金につきましては新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被保険者に傷病手当金を支給するための予算で、600万円の増額補正を行うものです。

続きまして歳入の説明をさせていただきます。

ページを戻りまして、8ページ、9ページをお開きください。

上の表になります。3款、1項、1目、保険給付費等交付金につきましては、傷病手当金の支給に係る財源として、国からの特別調整交付金を県を通じて交付されるもので、600万円の増額補正を行うものです。

下の表5款、1項、1目、一般会計繰入金につきましては、歳出の増額に伴い、一般会計から繰り入れされるもので、職員給与費等繰入金が108万1千円、事務費繰入金が1万5千円の増額補正を行うものです。以上でございます。よろしくお願いいたします。

健康福祉課長（岡崎省治君）

私のほうから議案第 46 号、令和 2 年度佐川町介護保険特別会計補正予算書（第 1 号）の御説明をさせていただきます。

予算書の 10 ページ、11 ページをご覧ください。

歳出のほうになります。こちらにつきましては、4 月の人事異動に伴います職員の人件費の補正ということで、1 款の総務費につきましては合計で 24 万円の増額、そして 3 款の地域支援事業費につきましては合計で 62 万 5 千円の減額というふうになっております。

続きましてページ戻りまして、歳入のほうの御説明をさせていただきます。

8 ページ 9 ページをお開きください。

こちらのほうにつきましてはまず、1 款、1 項、1 目、第一号の被保険者保険料につきまして、2,656 万 6 千円の減額と、295 万 1 千円の減額がございます。これにつきましては消費税の 10% 増税に伴いまして、低所得者の保険料軽減策の関連実施ということで、関連 53 号議案で条例改正の提案をさせていただいておりますが、これによりまして第一号被保険者の保険料の減収が見込まれるための減額するものでございます。

続きまして、3 款、2 項、7 目の国庫補助金、それから次の 5 款、2 項、5 目の県補助金、地域支援事業交付金の関係、それぞれ 24 万 1 千円の減額、そして 12 万円の減額がございますが、これは歳出の 3 款の職員人件費の補正、62 万 5 千円の減額について、財政負担の割合に応じて減額をするものでございます。

そして、7 款、1 項、4 目の低所得者保険料軽減繰入金、これは一般会計でもありましたが、先ほど申しました消費税 10% に伴います低所得者対策、これの一般会計の繰入金 2,951 万 7 千円でございます。

そして、7 款、1 項、5 目、その他の繰入金ということで、これは職員給与の繰入金になりますが、歳出の方の 1 款の総務費、一般管理費の 24 万円の増額に対応して全額を繰り入れするものでございます。

7 款、1 項、7 目、一般会計繰入金、地域支援事業関係とその後の 7 款、2 項、1 目、介護保険事業運営基金繰入金、それぞれ 12 万円と 14 万 4 千円の減額、これにつきましては 3 款の職員人件費の減額に伴います財政負担の割合に応じて減額をするというものでござい

ます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

町民課長（和田強君）

続きまして、私のほうから議案第 47 号、令和 2 年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）の説明をさせていただきます。

まず補正予算書の事項別明細書 10 ページ、11 ページをお開きください。

1 款、1 項、1 目、一般管理費になりますが、今回の補正は 4 月の人事異動に伴うものとなっております。給料、職員手当等、共済費で合計 141 万 8 千円の増額補正を行うものです。

続きましてページ戻りまして、歳入の説明をさせていただきます。8 ページ、9 ページになります。

こちら 3 款、1 項、1 目、職員給与費等繰入金、こちらにつきましては歳出の増額に伴い 141 万 8 千円の増額補正を行うものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

建設課長（池内伸雄君）

続きまして私のほうから議案第 48 号、令和 2 年度佐川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）につきまして御説明をさせていただきます。

補正予算書の 4 ページをお開きください。

第 2 表、地方債の補正であります。内容につきましては限度額の変更となっております。機能強化対策工事の財源となっております、農業集落排水事業補助金の割り当て内示が 20 万円増額になったことに伴い、限度額を 20 万円を補正し、540 万円としております。

なお、起債の方法、利率、償還の方法について変更はありません。続きまして、歳出の説明をさせていただきます。

12 ページ、13 ページをお開きください。

1 款、1 項、1 目、農業集落排水事業費、18 節、負担金・補助及び交付金の欄をご覧ください。本年度から実施を予定しております、機能強化事業計画が承認されましたことから、当町が会員となっております高知県農業集落排水事業推進協議会の会則に基づき、通常の会費に加え、機能強化対策事業を実施する市町村が負担する会費として 3 万円を増額させていただくものであります。

次に下段、2 目、維持管理費、14 節、工事請負費の欄をご覧ください。農業集落排水事業補助金の割り当て内示が増額となったこと

に伴い、処理施設の機械設備の更新を一部前倒しして実施するために、56万円を増額させていただくものであります。

続きまして歳入の説明をさせていただきます。

ページ戻っていただきまして、10ページ、11ページをお開きください。

3款、1項、1目、農業集落排水事業補助金につきましては、補助金の割り当て内示が20万円増額となったことから増額させていただくものであります。

下段、5款、1項、1目、一般会計繰入金につきましては歳出で御説明させていただきました、高知県農業集落排水事業推進協議会の会費3万円、一部前倒しして実施する機械設備の更新費用56万円のうち、補助金及び町債の各20万円を差し引いた16万円、合計19万円を増額させていただくものであります。

下段、8款、1項、1目、町債につきましては、農業集落排水事業補助金の増額に合わせて20万円を増額させていただくものであります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

総務課長（麻田正志君）

私のほうから議案第49号、議案第50号の説明をさせていただきます。

議案第49号、教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、提案説明でもありましたように、現在、教育長に支給している通勤手当につきまして、県下市町村との均衡を鑑み、本条例から通勤手当の字句を削るため条例の一部を改正するものとなっております。

具体的な改正の内容につきましては、現在の条例の第2条、第1項、及び第5項中にあります通勤手当を削るという内容になっております。以上でございます。

続きまして議案第50号の説明をさせていただきます。

こちらのほうにつきましては提案説明にもありましたように佐川町長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例の制定、こちらのほうにつきましては、法律で条令に規定することにより認められております病院事業の役務提供に関する複数年契約が、現行条例に定められていないため条例を改正するものとなっております。

地方自治法におきまして町が長期継続契約を締結するためには、その契約の種類を条例に規定することが求められております。現在の当町の条例では物品の借り入れ、同物品の維持管理業務、及び庁舎等施設の維持管理業務について長期継続契約ができることとなっております。今回の改正はこれら契約の種類以外の役務の提供につきまして、提供できるようにすること、及び地方公営企業法の全部適用を受ける病院事業の契約につきましては、その契約権者である病院事業管理者が、必要事項について定めることができるようにするものであります。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

町民課長（和田強君）

私のほうからは議案第 51 号、52 号の説明をさせていただきます。

議案第 51 号、佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例につきましては、提案説明でありましたように、新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る、傷病手当金を支給するため条例の一部を改正するものであります。

議案第 51 号関係、参考資料をご覧ください。ホッチキス留めのものであります。

1 枚目は新旧対照表になっております。2 枚目がですね、傷病手当金の概要を記入したものになります。その中の下の枠のほうに新型コロナウイルス感染症に関する対応の欄をご覧ください。

対象者につきましては被用者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した者、または発熱等の症状があり、感染が疑われる者が対象になります。支給要件につきましては書いてあるとおりですが、4 日目から支給となります。支給額につきましては、直近の継続した 3 カ月の給与収入の合計額を就業日数で割った額の、3 分の 2 かける日数という事で支給をするということになっております。以上でございます。

続きまして、議案第 52 号、佐川町後期高齢者医療に関する条例の一部改正につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給に関する高知県高齢者医療広域連合の後期高齢者医療に関する条例の一部改正に伴いまして、町において行う事務の中に傷病手当金の支給に係る申請書の受け付けを加えるために、条例の一部改正をするものです。

こちらにも議案第 52 号関係、参考資料をご覧ください。と思いま

すが、一枚物の新旧対照表になってございます。その、これは町において行う事務が第2条として書いておりますが、最後にですね、8番にこの傷病手当金の支給に係る申請書の受け付けというのを追記させていただいております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

健康福祉課長（岡崎省治君）

私から議案第53号、佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について御説明をいたします。

議案本文もしくは本日お手元にお配りしております参考資料の新旧対照表、第53号関係をご覧ください。

改正内容については2点ございます。

まず、1点目といたしましては第2条をご覧ください。

第2条の改正につきましては、さきほど申し上げましたとおり、令和元年度、元年10月に消費税が10%に引き上げられることに伴います、低所得者に対する介護保険料の負担軽減策について令和2年度から完全実施されることによって保険料額を減額するものとなっております。

保険料区分が第1段階の方につきましては、2万7千円が2万1,600円に、第2段階では4万5千円が3万6千円に、第3段階では5万2,200円が5万400円に減額をされます。

2点目といたしましては、新旧対照表には裏になると思いますが附則をご覧ください。

附則第11条といたしまして、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における保険料の減免規定を設けるものとなっております。

第1条の附則の中で減免対象となる保険料の期間は、令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間の期限が定められている保険料になりまして、減免の対象となる要件といたしまして、第1号で新型コロナウイルス感染症により主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った場合、第2号で新型コロナウイルス感染症の影響により主たる生計維持者の事業収入等のいずれかの減収が見込まれる場合で、その減少額が前年の10分の3以上であり、かつ、減少する事業収入等に係る所得以外の、前年の所得の合計額が400万円以下である場合を規定をしております。

なお、この新型コロナウイルスに関する減免措置につきましては、

国の緊急経済対策に盛り込まれておりまして、減額された財源については国から財政支援がこうじられることになってございます。

以上で議案第 53 号の説明を終わります。よろしく申し上げます。
総務課長（麻田正志君）

それでは私から議案第 54 号、55 号の説明させていただきます。

まず、議案第 54 号、加茂辺地に係る総合整備計画の変更につきまして説明をさせていただきます。

今回の総合整備計画の変更につきましては平成 31 年 3 月議会定例会におきまして策定について議決をいただいております、加茂辺地に係る総合整備計画の変更ということになります。

主な変更点について御説明をさせていただきます。

議案の裏側にあります総合整備計画書をご覧ください。裏面総合整備計画書になっております。

主な変更点につきまして御説明をいたします。

この整備計画書の 2 に公共的施設の整備を必要とする事情というものがございます。こちらのほうに（2）といたしまして、地域産業振興を加えております。その内容は、「本地域は国道沿いにあるが、町中心部から離れており、周辺に公共的施設や民家がなく自然に囲まれた山間地である。現在、第 5 次佐川町総合計画に基づき、地域資源を活用した町特産品の開発、流通、販売体制の整備、自伐型林業及び牧野公園を核とした植物を通したまちづくりを進めており、本地域の自然豊かな環境を活用した佐川町らしい道の駅を整備し、交流人口を増やすことで地域経済の活性化を図る。また、高知県が進める管理型産業廃棄物最終処分場建設に係る地域振興策として、地域住民から公園整備や地域活性化施設整備の要望がある。」というものを付け加えております。

次にその下の 3、公共的施設の整備計画のほうに産業振興施設を加えております。産業振興施設を加えまして整備機関、整備期間のほうは 1 年延長いたしまして 4 年間ということにしております。産業振興施設につきましては参考資料、議案第 54 号、こちらのほうにありますとおり、道の駅整備事業ということになっております。

議案第 54 号の説明につきましては以上です。

続きまして、議案第 55 号、工事請負契約の締結について御説明をさせていただきます。

今回の工事につきましては、佐川町役場庁舎非構造部材等耐震改

修工事となっております。契約の目的、契約の方法、契約金額、契約の相手方は町長の提案説明のとおりであります。

参考資料議案第 55 号関係で説明をいたしますので、参考資料のほうのご用意をお願いいたします。

参考資料の A 4 の A 4 一枚物ですけれど、A 4 の資料の 1、入札（一般競争入札）はこの工事の入札結果ということになっております。

2 の工期につきましては契約日から令和 3 年 11 月 30 日までとしております。

3 の工事概要につきましては、こちらにありますように国内におきましては非構造部材耐震化及び劣化部改修、床とか壁とか天井であります。1 階便所の大規模模様替え及び多目的便所の設置、設備配管劣化部の更新、照明器具を LED に更新、1 階受付カウンター及び各種サイン等の更新となっております。屋外におきましては外壁劣化修繕、塗装替え、自家発電設備の新設及び屋外キュービクルの移設・更新、屋上防水修繕、受水槽及び給水ポンプの移設・更新及び既設消火ポンプの更新、アスファルト舗装修繕という事になっております。

次に A 3 で用意しております資料の平面図をご覧ください。

こちらのほうで若干補足して説明のほうさせていただきます。

1 枚目につきましては 1 階の平面図になっております。なお、1 階も含めまして、3 枚の平面図ともレイアウトの改修部分を除きまして令和元年度の配置ということになっております。

網掛け箇所につきましては今回の改修外となっております。1 階のトイレの図面につきましては、レイアウトの改修後と、改修後の位置図となっております。共通事項といたしまして、壁、床、天井の仕上げ更新を行います。ただし、劣化が見られない箇所や倉庫等は除きます。建具ガラスを強化ガラスに入れ替えて、クラックの補修、家具の耐震固定、室名札やピクトサイン等の更新を行います。ピクトサインというのは、何らかの情報や注意を示すために表示する視覚記号、マークになっております。例えて言いますとトイレにあります男性、女性のマークなどがこのピクトサインということになっております。

共通事項以外の主なものにつきましては図面の中ほど、庁舎の中ほどをずっと横にっておりますけれど、そちらのほうの受付カウ

センターの更新、そして先ほども言いましたトイレの改修を行います。こちらのトイレの改修につきましては現在のレイアウトを変更いたしまして、多目的トイレにつきましては新たに設置をいたします。現在のちょっと利用しづらいトイレのほうを新たに多目的トイレということで位置を変更して設置をいたします。

2枚目をご覧ください。2枚目のほうは2階の平面図ということになっております。1階と同様に、網掛け箇所については改修外となっております。こちらのほうも共通事項といたしまして、1階と同様に壁、床、天井の仕上げ更新、同じように劣化が見られない箇所や倉庫等は除きます。建具ガラスを強化ガラスに入れ替え、クラックの補修、家具の耐震固定、室名札やピクトサイン等の更新を行います。共通事項以外の主なものにつきましてはこの図面の真ん中より右のほう、部屋で言いますと職員食堂、休養室の横のあたりになりますけれど、そちらのほうは1階の屋上部分になります。こちらのほうに自家発電機とその燃料用オイルタンク、そしてキュービクル、キュービクルというのは高圧自電設備となっております、発電所から送られてくる高圧の電気を施設で使える100ボルトや200ボルトの電気に変換する機器、それを金属製の箱に収めたものということになっております。

この新たに設置いたします自家発電機によりまして、現在の防災行政無線室、災害対策本部となる2階大会議室に加えまして、給排水設備、電算室、1、2階のトイレ、1階執務室の照明及び電源コンセントの一部が災害発生直後から継続いたしまして最大で3日間程度使用可能ということになります。

3枚目をご覧ください。3枚目は3階の平面図ということになります。こちらのほうも1、2階と同様に網掛け箇所につきましては改修外となります。こちらのほうは共通事項部分だけということで、1、2階と同様に、壁、床、天井の仕上げ更新、劣化が見られない箇所や倉庫等は除きます。あと建具ガラスを強化ガラスに入れ替え、クラックの補修、家具の耐震固定、室名札やピクトサイン等の更新を行うという内容になっております。

この工事につきましては役場庁舎における業務を継続しながらの工事ということになります。この工事期間中には住民の皆様方にはご不便等をおかけすることになろうかと思っておりますけれど、御理解御協力のほど何とぞよろしくお願いしたいと思います。

説明は以上です。よろしくお願いたします。

教育次長（吉野広昭君）

それでは私のほうから議案第 56 号について御説明をさせていただきます。

議案第 56 号、工事請負契約の締結につきましては、災害時に拠点避難所となります、総合文化センターの非構造部材の耐震化及び劣化箇所の改修及び研修室等の模様替えを行う工事に関するもので、5 月 27 日に行われました一般競争入札の結果を受け、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得、または処分に関する条例に基づき補正するものでございます。

参考資料議案第 56 号をご覧ください。

1 枚目は入札のてんまつ書となっております。なお、てんまつ書に記載の金額は全て税抜き金額としております。

契約の相手方は高知県高知市九反田 5 番 8 号、新進建設株式会社、代表取締役、小川裕司で、契約金額は 3 億 3,897 万 6 千円。工期につきましては契約の日から令和 3 年 3 月 31 日までとしております。参考資料の 2 枚目は 1 階部分、3 枚目につきましては 2 階部分、4 枚目は屋上部分のそれぞれ改修後の平面図を付けております。

工事の内容の概略につきましては総合文化センター内の床、壁、天井の非構造部材の耐震化及び劣化補修、玄関ホール、2 階ロビー周り、2 階大研修室の大規模な模様替え、各階トイレの大規模模様替え、空調機器の全面更新、照明器具の LED 化、外壁の劣化修繕及び塗装替え、屋上防水修繕を行うものです。

なお、体育館につきましてはトイレの大規模模様替え、照明器具の LED 化を行うこととしております。

どうぞよろしくお願いたします。

総務課長（麻田正志君）

それでは議案第 57 号、物品購入契約につきまして説明をさせていただきます。まず、契約の目的、契約の方法、契約金額、契約の相手方は町長の提案説明のとおりとなっております。参考資料として用意しております資料につきましては 1 番として入札の結果、2 番として契約金額、3 番として納入期限を令和 3 年 3 月 26 日といたしております。今回この物品といたしまして購入を予定しておりますのは、消防ポンプ自動車、いわゆるポンプ車と呼ばれるものでございます。現在、佐川町消防団に配備しております消防ポンプ自動車は

7台ございます。7台ございまして、老朽化が進んでおりまして、平成29年度から令和5年度まで年に1台ずつ更新していく計画を立てまして、1年に1台ずつ更新をしていっておるところでございます。

今年度におきましては現在最も古く、平成9年2月に購入いたしました尾川分団のポンプ車の更新を予定しております。

車両の概要につきましては、今回つけております参考資料をご覧くださいと思います。参考資料につけておりますのは昨年度佐川分団に配備いたしましたポンプ車の写真ということになっております。

今年度におきまして、総排気量2,999cc以上、4輪駆動、定員6名、佐川分団に配備しましたポンプ車と同タイプの車両を予定しております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

議長（岡村統正君）

これで議案第44号から議案第57号までの提案理由の説明を終わります。

本日の議会はこれもちまして終わります。

次の開会を8日の午前9時とします。

本日はこれをもって散会いたします。

散会　　午前11時40分